

# 八戸市公共下水道耐水化計画策定業務委託

## 〔2〕 特記仕様書

### 1. 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は、「八戸市公共下水道耐水化計画策定業務委託一般仕様書」第1章 1.1 及び 1.2 に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は前記一般仕様書によるものとする。

### 2. 業務委託の対象

#### 2.1 終末処理場

処理場名	施設概要		備考
東部終末処理場 (八戸市江陽三丁目 1番111号)	下水排除方式		分流・合流
	処理方法		標準活性汚泥法
	能力 ( $\text{m}^3/\text{日}$ )	計画1日最大処理水量	61,300
		既設備能力	35,100
	供用開始年月		昭和53年9月
	焼却炉の有無		無
コンポスト化施設の有無		無	

#### 2.2 雨水ポンプ場

ポンプ場名	施設概要		備考
沼館雨水ポンプ場 (八戸市沼館三丁目 4番48号)	下水排除方式		分流式
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画雨水量	$28.735\text{m}^3/\text{s}$
		既設備能力	$7.83\text{m}^3/\text{s}$
	供用開始年月		昭和56年4月
小中野雨水ポンプ場 (八戸市江陽四丁目 10番29号)	下水排除方式		分流式
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画雨水量	$9.913\text{m}^3/\text{s}$
		既設備能力	$9.07\text{m}^3/\text{s}$
	供用開始年月		昭和58年4月
類家雨水ポンプ場 (八戸市諏訪一丁目 11番1号)	下水排除方式		分流式
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画雨水量	$9.999\text{m}^3/\text{s}$
		既設備能力	$10.92\text{m}^3/\text{s}$
	供用開始年月		昭和62年8月
類家南雨水ポンプ場 (八戸市類家五丁目 37番10号)	下水排除方式		分流式
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画雨水量	$10.159\text{m}^3/\text{s}$
		既設備能力	$4.33\text{m}^3/\text{s}$
	供用開始年月		平成9年4月
下長雨水ポンプ場 (八戸市下長七丁目 1番6号)	下水排除方式		分流式
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画雨水量	$20.225\text{m}^3/\text{s}$
		既設備能力	$20.80\text{m}^3/\text{s}$
	供用開始年月		平成22年9月
尻内雨水ポンプ場 (八戸市尻内町 尻内河原79番4)	下水排除方式		分流式
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画雨水量	$7.485\text{m}^3/\text{s}$
		既設備能力	$7.60\text{m}^3/\text{s}$
	供用開始年月		平成30年7月

## 2.3 汚水中継ポンプ場

ポンプ場名	施設概要			備考
館鼻 汚水中継ポンプ場 (八戸市新湊三丁目 3番1号)	下水排除方式		分流式	沈砂池有り
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画時間最大汚水量	0.363 $\text{m}^3/\text{s}$	
		既設備能力	0.28 $\text{m}^3/\text{s}$	
	供用開始年月		平成5年4月	
新都市第一 汚水中継ポンプ場	下水排除方式		分流式	沈砂池有り
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画時間最大汚水量	0.021 $\text{m}^3/\text{s}$	
		既設備能力	0.060 $\text{m}^3/\text{s}$	
	供用開始年月		平成10年4月	
新都市第二 汚水中継ポンプ場	下水排除方式		分流式	沈砂池有り
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画時間最大汚水量	0.033 $\text{m}^3/\text{s}$	
		既設備能力	0.040 $\text{m}^3/\text{s}$	
	供用開始年月		平成3年4月	
新都市第三 汚水中継ポンプ場	下水排除方式		分流式	沈砂池有り
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画時間最大汚水量	0.004 $\text{m}^3/\text{s}$	
		既設備能力	0.040 $\text{m}^3/\text{s}$	
	供用開始年月		平成2年4月	
新井田西 汚水中継ポンプ場 (八戸市新井田西一丁目 1番1号)	下水排除方式		分流式	沈砂池無し
	能力 ( $\text{m}^3/\text{分}$ )	計画時間最大汚水量	0.124 $\text{m}^3/\text{s}$	
		既設備能力	0.10 $\text{m}^3/\text{s}$	
	供用開始年月		平成24年4月	

## 3. その他特記事項

### 3.1 作業内容

本業務を効率的に実施するため、作業分担を次表に示す。

	作業項目	八戸市	業務委託	備考
1	施設資料の収集・整理	○	○	浸水想定区域等のデータは八戸市にて収集し、受託者に提供する。
2	対象外力の設定	○	○	適宜協議を実施
3	確保すべき機能の検討		○	
4	対策手法の整理・検討	○	○	適宜協議を実施
5	対策実施方針の検討		○	
6	施工スケジュール(案)の作成		○	
7	報告書作成		○	

### 3.2 浸水リスクの想定方法

#### (1) 既存資料

- ・洪水ハザードマップ      あり
  - 馬淵川   : 中高頻度 (1/30~1/80)、計画規模 (1/100)、想定最大規模 (1/1000)
  - 浅水川   : 計画規模 (1/100)、想定最大規模 (1/1000)
  - 新井田川: 計画規模 (1/100)、想定最大規模 (1/1000)
- ・最大津波マップ      あり
- ・内水ハザードマップ    なし
- ・高潮ハザードマップ    なし

## (2) 簡易シミュレーションの実施

本業務において、既存資料が存在しない内水及び高潮について、新たな簡易シミュレーションは実施しないこととする。

### 3.3 施設情報（台帳）

	施設名称	電子データ	備考
処理場			
1	東部終末処理場	有り	既存データベース
ポンプ場			
1	小中野雨水ポンプ場	有り	既存データベース
2	類家雨水ポンプ場	有り	既存データベース
3	沼館雨水ポンプ場	有り	既存データベース
4	類家南雨水ポンプ場	有り	既存データベース
5	館鼻汚水中継ポンプ場	有り	既存データベース
6	新井田西汚水中継ポンプ場	有り	既存データベース
7	下長雨水ポンプ場	有り	既存データベース
8	尻内雨水ポンプ場	無し	

### 3.4 設計協議

本業務に関する協議は、業務着手時、中間打ち合わせ（2回）、成果品納入時の4回とする。